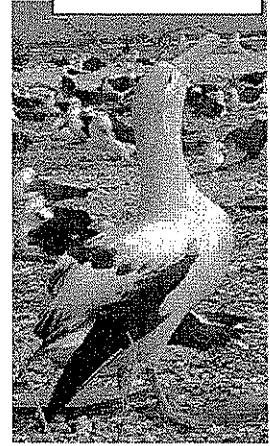


アホウドリの概要

1. 種名

アホウドリ (学名 *Diomedea albatrus*)

ミズナギドリ目アホウドリ科



アホウドリ (成鳥)

2. カテゴリー

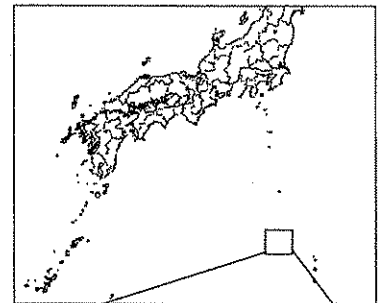
- ・環境省レッドデータブック (2002年) では、絶滅危惧Ⅱ類。

3. 生態等

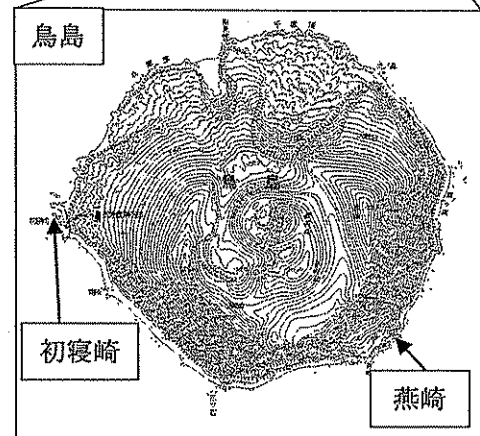
- ・海洋島の裸地あるいは丈の低い草の生えた場所で営巣。繁殖活動は10～5月。主な食物はイカ類や甲殻類 (おもにアミ類)、魚類。
- ・平均で7歳から繁殖に参加するようになり、巣立った場所に戻ってきて繁殖を行う傾向が強い。

4. 個体数の推移

- ・繁殖地は伊豆諸島鳥島と尖閣諸島のみ。
- ・過去絶滅寸前。現在は個体数が増加傾向。
- ・総個体数は、約 2,150 羽と推定 (そのうち鳥島が約 1,850 羽)。

5. 減少した要因・生息を圧迫する要因

- ・過去に羽毛採取のため人間に大量に捕獲され、絶滅寸前となった。
- ・総個体数の約9割が生息する伊豆諸島鳥島は活火山を有する火山島であり、火山の噴火により繁殖地が破壊される危険。

6. 保護施策

- ・昭和56年より、鳥島の繁殖地 (燕崎) において、植物の植栽、砂防工事等による繁殖環境の改善事業を実施し、繁殖成功率を40%台から60%台まで大幅に改善。(平成16年度まで実施)
- ・平成5年、種の保存法に基づく「国内希少野生動植物種」に指定。
- ・平成5年より、比較的安定した立地である鳥島の北西に位置する初寝崎で、新たな繁殖地を形成するための、デコイ (実物大の模型) 及び音声再生装置の設置事業を開始。平成17年度まで事業を行い、16つがい産卵、13羽のヒナが巣立ち、当該事業は成功。
- ・平成13年より米国と共同して、小型発信器を装着して人工衛星による行動を追跡。現在までに、繁殖期後の日本から米国への渡り経路が把握され、平成17年度より、繁殖期の採餌行動を追跡。